

令和4年度沖縄公庫八重山支店の融資実績について

～設備投資マインド回復の兆し～

1. 沖縄振興開発金融公庫八重山支店（支店長：仙野健）の令和4年度融資実績は、415件（対前年度比97.4%）、40億63百万円（同76.8%）となりました。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者からの申込みが一段落したことが要因となっております。【図表1】
2. 資金の用途別では、設備資金が構成比で39.1%（前年度より22.7ポイント増）、運転資金は同60.9%となりました。引き続き新型コロナウイルス感染症や物価高騰等の影響を受けている事業者から資金繰り支援のための運転資金需要が一定数あるなか、ポストコロナに向けた設備投資マインドの回復を反映したものとなっています。【図表2】
3. 資金別では、中小企業資金が13件（前年度比59.1%）・13億35百万円（同56.3%）、生業資金が228件（同110.1%）・22億67百万円（同94.2%）、生活衛生資金が10件（同142.9%）・63百万円（同94.0%）、農林漁業資金が23件（同100.0%）・2億40百万円（同88.0%）となりました。【図表3】

生業資金のうち、石垣市商工会、竹富町商工会、与那国町商工会が推薦する無担保・無保証のマル経資金（小規模事業者経営改善資金）及び沖経資金（沖縄雇用・経営基盤強化資金）は、合計で29件（前年度比96.7%）・2億9百万円（同100.2%）と件数は減少しましたが、融資金額は前年並みとなりました。また、3商工会合計で26件・2億65百万円の新型コロナ関連融資の斡旋がありました。【図表4】

教育資金は、141件（前年度比84.4%）・1億58百万円（同89.0%）となりました。沖縄公庫の独自制度である「教育離島特例」や「沖縄人材育成資金貸付」のほか、「母子家庭・父子家庭特例」、「多子特例」など利率が優遇される特例制度のご利用実績がありました。【図表5】
4. 業種別では、卸・小売業が8億24百万円（構成比20.3%）と最も大きく、次いで飲食店・宿泊業が7億99百万円（同19.7%）、生活関連サービス・娯楽業が5億90百万円（同14.5%）となりました。

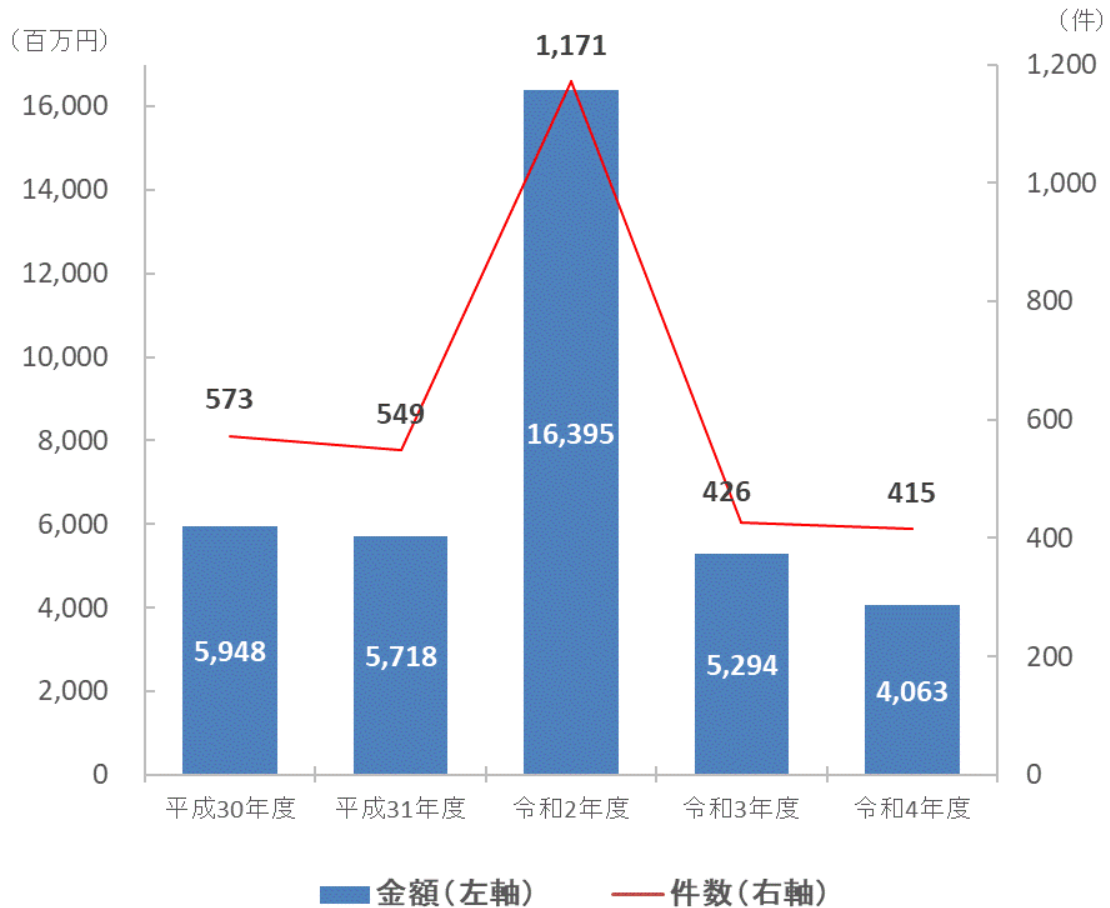
飲食店・宿泊業への融資額はコロナ禍前の平成31年度の水準に落ち着いています。一方で卸・小売業においては、新店舗取得等にかかる設備投資案件により増加しました。【図表6】
5. 沖縄公庫八重山支店は、八重山地域の持続可能な地域社会づくりに向け、今後も商工会等の関係機関や民間金融機関との連携を図りつつ、多様な資金ニーズに対応して円滑な資金供給に努め、八重山地域の振興を支援してまいります。

【問合せ先】

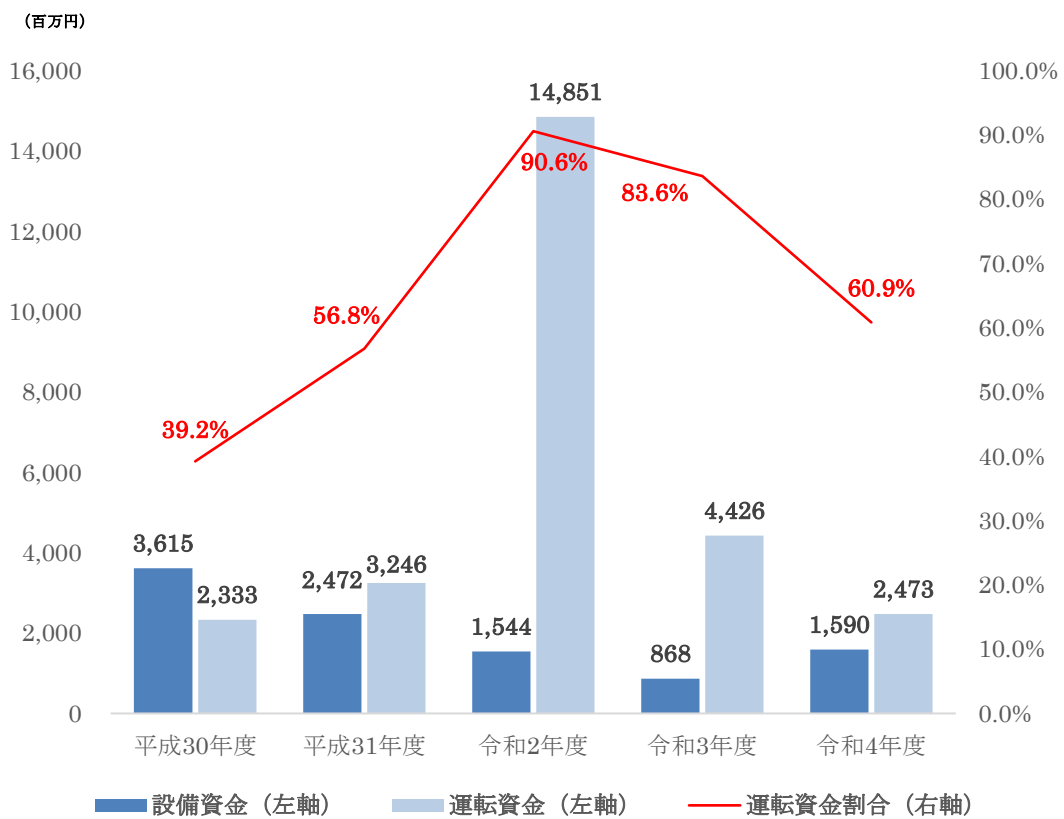
八重山支店（担当：佐渡山・野原） TEL 0980（82）2701



【 図表1 融資実績の推移 】



【 図表2 用途別融資実績の推移 】



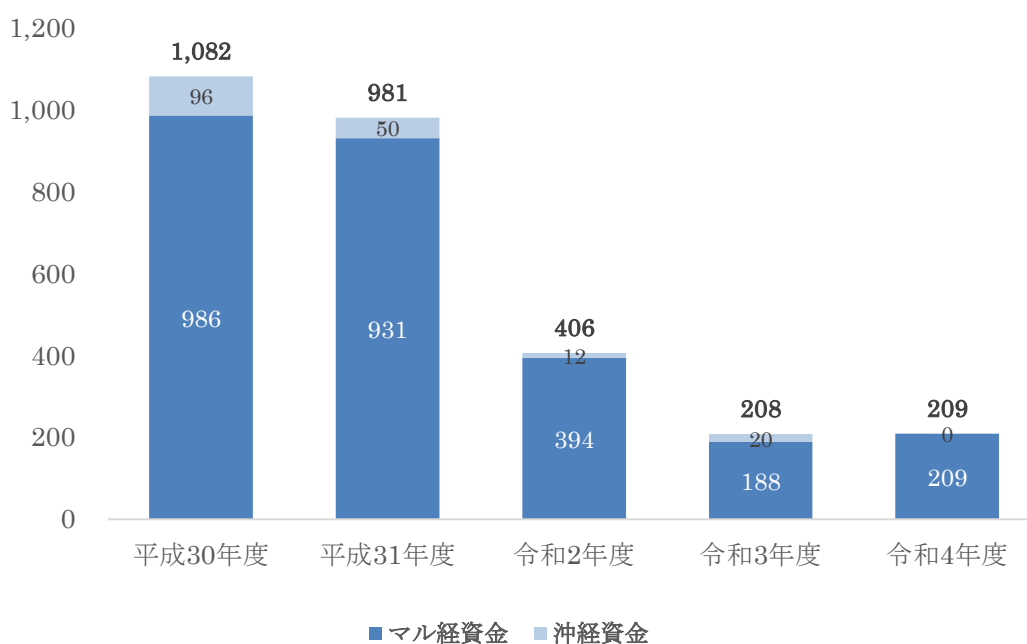
【 図表3 資金別融資金額の推移 】

(単位：百万円)

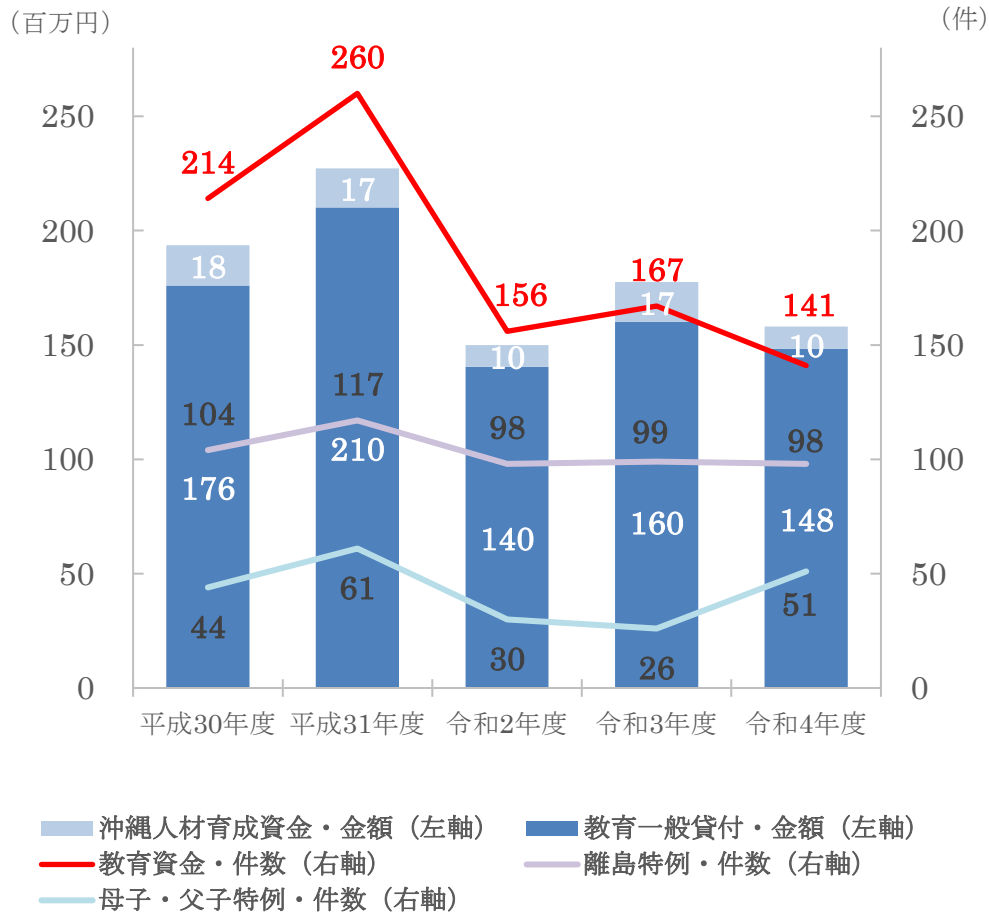
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
中小企業資金	2,801	1,953	3,813	2,370	1,335
生業資金	2,351	3,237	11,300	2,407	2,267
恩給担保資金	68	12	0	0	0
教育資金	194	227	150	178	158
生活衛生資金	197	9	236	67	63
医療資金	0	0	30	0	0
農林漁業資金	337	281	867	272	240
合 計	5,948	5,718	16,395	5,294	4,063

【 図表4 マル経資金・沖経資金の推移 】

(百万円)



【 図表5 教育資金の推移 】



【 図表6 業種別融資金額構成比の推移 】

